

お茶を飲みながら、ゆったり
先生のお話を聴いてみませんか？

日本学術会議 **サイエンスカフェ**

事前申込(中学生以上対象)
先着20名様

普段、野外で見かけるコオロギの大きさを測る事で気候の変化を知ることができます。
参加者のみなさんと一緒に温暖化について考えます。

虫の大きさをでわかる 温暖化

講師：

京都大学
学術研究展開センター
特定教授

日本学術会議連携会員

沼田 英治 先生



プロフィール：
長年、昆虫の季節適応の研究に
携わってきました。
趣味は写真を撮ることです。
→詳しくは裏面をご覧ください。



えっ！ そうなんだ！

日時：2024年 **7月27日(土)**

(受付開始/午後2:30) **午後3:00~4:30**

場所：**アル・プラザ彦根**
6階 COZY TOWN cafe

おひとり様1ドリンクのご注文をお願いします。(セルフサービス制)



※予告なく中止させていただく場合がございます。

主催 / 日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同動物科学分科会、農学委員会応用昆虫学分科会

共催 / 株式会社 平和堂 (アル・プラザ彦根 みんなの広場 0749-24-4111(午前10:00~午後5:00))

お申込は下記にご記入の上、アル・プラザ彦根「4階みんなの広場」または「1階銘店コーナー」まで (サイエンスカフェ)

フリガナ

お名前

電話番号

※中止等緊急時の連絡にのみ使用いたします。
携帯番号の場合は、ショートメールにてお送りします。



沼田英治(ぬまたひではる) 先生からの メッセージ



1955 年生まれ。富山県出身。幼稚園から大阪府で育ちました。
京都大学理学部卒業、大学院理学研究科修了（理学博士）。
大阪市立大学理学部助手、講師、助教授、教授を経て 2009 年
から京都大学大学院理学研究科教授。
2021 年に定年退職して京都大学名誉教授になりました。



大学院生時代から定年退職まで一貫して、昆虫がどのように季節変化に対応しているのかを研究しました。

カメムシ、チョウ、コウチュウ、ハエなどさまざまな昆虫を対象としました。

2022 年に再び京都大学に就職し、現在は学術研究展開センターの特定教授として文理融合研究の推進を行うとともに、小学生から一般市民までを対象に、講演会やサイエンスカフェなどで生物学の普及に努めています。

休日はカメラを持って野外に出かけ、鳥や虫の写真を撮っています。

2000 年ごろクマゼミがなぜ大阪で著しく増えたのかを疑問に思い、さまざまな実験を行いました。

その結果、ヒートアイランドとの関係が深いことが明らかになりました。

今回のサイエンスカフェではクマゼミの話はしませんので、興味をお持ちの方は、拙著「クマゼミから温暖化を考える」をお読みください。

この研究以降、わたしは温暖化の問題に強い関心を持つようになりました。

今回のサイエンスカフェでは、まず、温暖化に関わる疑問をいくつか挙げて、それに対する答えを示します。

次に、温暖化と昆虫の関係について一般的な話題を紹介します。

そして最後に、わたしたちが日本全国でシバズという小さなコオロギを集めてその大きさを測ることによって、温暖化がこのコオロギの生活史に影響を与えたことを明らかにした研究を紹介します。

これらの話題で、みなさんとお話できるのを楽しみにしています。

